

自分の思いを英語にする

Kikuchi Method  
**Japa-Lish**

日本語の英文法語順

菊池憲宣

## 【基本編】

### ステップ2 基本5文型－話の基本骨格を使いこなす

#### 2-1 話の基本骨格を知る

話の基本骨格 ……26

第1文型／S+V

第3文型／S+V+O

第4文型／S+V+O+O

第2文型／S+V+C

第5文型／S+V+O+C

動詞・助動詞・否定 ……36

1 動詞 ……36

1-1 時制

1-2 進行形

1-3 完了形

1-4 受動態

2 助動詞 ……42

2-1 can

2-2 may

2-3 must

2-4 would

2-5 should

2-6 ought to

2-7 used to

2-8 need

3 否定 ……46

3-1 否定 not

3-2 否定 never

3-3 部分否定

3-4 準否定

3-5 全体否定

3-6 強い否定を表わす

3-7 二重否定

## 話の基本骨格

話の基本骨格(基本 5 文型)は文の要素からなり、主語の次に動詞が置かれ、動詞の種類によって、目的語または補語の位置が 5 つの基本文型に分類されます。

組み合わせ順序は、目的語にかかわる第 1 文型・第 3 文型・第 4 文型、そして補語にかかわる第 2 文型・第 5 文型としています。

### 第 1 文型 / S+V

「**主語 + 自動詞**」は、主語と自動詞だけで意味が完全になり、目的語をとらない文型で、自動詞の後には場所・方向・重量・距離・時間・様態などの修飾語が来ます。

#### 自動詞

arrive(到着する), go(行く), come(来る), run(走る), depart(出発する), fall(落ちる), sit(座る), sleep(寝る), appear(現れる), disappear(消える), die(死ぬ), remain(残る), happen(起こる), ache(痛む), bleed(出血する), blush(赤面する), faint(卒倒・気絶する), cough (咳をする), など

鳥は 飛ぶ

**Birds fly.**

📖 主語 + 自動詞

その店は 開く 10 時に←

**The store opens at ten o'clock.**

📖 主語 + 自動詞 + 修飾語

その雨は 続いた 一週間←

**The rain lasted for a week.**

📖 主語 + 自動詞 + 修飾語

これらの花は 育つ 寒い国で←

**These flowers grow in the cold countries.**

📖 主語 + 自動詞 + 修飾語

## NOTE

自動詞には、副詞を伴うもの、前置詞を伴う連語タイプのもの、二つの前置詞句をとるものもあります。

私の車が **故障しました** 昨日←

My car **broke down** yesterday.

📖 副詞を伴うもの

break out(突発する・起こる)

look out(気をつける)

run away(逃げる)

get along(うまくやっていく)

stand out(目立つ), など

ジョンは **話しています** 彼の心配事を 今←

John **is talking of** his trouble now.

📖 前置詞を伴う連語タイプのもの

comply with(応じる・従う)

consent to(同意する・承諾する)

prepare for(準備する・用意する)

plan for(計画を立てる)

fail in, at(失敗する)

proceed to(移る・進む), など

ケン は **討論した** 悠太と 政治について←

Ken **argued with** Yuta **about** politics.

📖 二つの前置詞句をとるもの

compete with~for... (...ために~と競争する・張り合う)

speak to~on, about... (...について~に演説・講演する)

agree with~on, about... (...について~に同意・賛成する)

disagree with~on, about... (...について~と意見が合わない)

negotiate with~on, about... (...について~と交渉・協議する), など

### 第3文型／S+V+O

「主語＋他動詞＋目的語」は、他動詞の対象となる目的語をとる文型です。  
目的語になる構文・語法の種類は、各例文の📖で確認します。

#### 他動詞

build(建てる), buy(買う), catch(捕まえる), carry(運ぶ), cut(切る), use(使う), sell(売る), feel(感じる), hear(聞く), smell(嗅ぐ), touch(触る), enjoy(楽しむ), fear(恐れる), hate(嫌う), love(愛する), like(好む), believe(信じる), discuss(議論する), expect(期待する), forget(忘れる), blame(責める), など

何を←1 しますか 悠太は ～学ぶ 学校で←2

What does Yuta **learn** at school?

📖 疑問代名詞

祖父は ～楽しんだ 旅行することを 東南アジアに←

My grandfather **enjoyed traveling** in South East Asia.

📖 動名詞

息子は ～決心した になることを 料理人←

My son **decided to become** a cook.

📖 to 不定詞

リサは ～知らなかった どう書くのかを この申告書を←

Lisa didn't **know how to write** this application form.

📖 疑問詞＋to 不定詞

私は ～知りたい (のは)何かを 娘が ～してしまった←

I want to **know what** my daughter has done.

📖 名詞節の疑問詞用法

兄は ～するつもりです ところのことを 彼が することができる←

My older brother will **do what** he can do.

📖 名詞節の関係代名詞 what 用法

## NOTE

他動詞には、変動・分離・固定タイプの副詞を伴うもの、前置詞を伴う成句タイプのもの、副詞と前置詞を伴うもの、成句になるものもあります。

夫は **～消した** その燃えているたいまつを←

My husband **put out** the burning torch.

📖 変動タイプの副詞を伴うもの

私たちは **～見送った** 彼を 駅で←

We **saw** him **off** at the station.

📖 分離タイプの副詞を伴うもの

車は **～上げた** スピードを 突然に←

The car **picked up** speed suddenly.

📖 固定タイプの副詞を伴うもの

call off(中止する), put off(延期する), など

妹は **～似ています** 母に←

My younger sister **takes after** our mother.

📖 前置詞を伴う成句タイプのもの

deal with(扱う), look for(探す), wait on(仕える), など

祖母は **～じっと我慢した** 振る舞いを その男の←

My grandmother **put up with** the behavior of the man.

📖 副詞と前置詞を伴うもの

come up with(思いつく), look up to(尊敬する), など

ジョンは **～利用した** この機会を 昇進の←

John **took advantage of** this opportunity of the promotion.

📖 成句になるもの

catch sight of(見つける), make room for(場所をあける),  
pay attention to(注意する), take care of(世話する), など

## 第4文型 / S+V+O+O

「主語+動詞+間接目的語・誰に+直接目的語・何を」は、他動詞の対象となる2つの目的語をとる文型です。

直接目的語・何をになる構文・語法の種類は、各例文の📖で確認します。

### 二つの目的語をとる他動詞

give(与える), hand(渡す), lend(貸す), send(送る), show(見せる), teach(教える), tell(話す), buy(買う), get(手に入れる), make(作る), cook(料理する), find(見つける), order(注文する), ask(たずねる), など

私は ~与えた 親友に 一冊の本を←

I gave a close friend one book.

📖 普通名詞

私は ~借りている 悠太に 10ドルを←

I borrow Yuta ten dollars.

📖 普通名詞

私は ~頼んだ 彼らに 来ることを 早く←

I asked them to come early.

📖 to 不定詞

私は ~告げた 叔父に どこへ行くのかを←

I told my uncle where to go.

📖 疑問詞+to 不定詞

私は ~言うつもりです 叔母に ということ 私は お金がない←

I will tell my aunt that I have no money.

📖 名詞節の that 用法

~教えなさい 私に かどうか ケンが 住んでいる この家に←

Teach me if Ken lives in this house.

📖 名詞節の whether, if 用法

## NOTE

### ◆ 「間接目的語・誰に」を「直接目的語・何を」の後ろに置く場合

「間接目的語・誰に」に to か for を用いますが、ask は例外で of を用いる

to を用いる動詞／相手に何かをもたらす動詞

give(与える), hand(渡す), lend(貸す), send(送る), show(見せる),  
teach(教える), tell(話す), など

for を用いる動詞／相手のために何かをする動詞

buy(買う), get(手に入れる), make(作る), cook(料理する),  
find(見つける), order(注文する), など

of を用いる動詞／ask(尋ねる)

母は ～見せた アルバムを おばさんに←

My mother **showed** her album **to my aunt**.

父は ～買った 素適な腕時計を おじさんのために←

My father **bought** a nice watch **for my uncle**.

姉は ～たずねた 携帯電話番号を 私の←

My older sister **asked** the cell-phone number **of me**.

### ◆ 直接目的語が代名詞 it などの場合は必ずこの形になる

ジョンは 与えた それを 私に←

John **gave it to me**.

### ◆ 目的語を 2 つ続けることが出来ない動詞

say(言う), explain(説明する), suggest(提案する),  
introduce(紹介する), など

悠太は 説明した ルールを 野球の ジョンに←

Yuta **explained** the rules of baseball **to John**.

## 第2文型／S+V+C

「主語+動詞+補語」は、主語を説明する主格・補語をとる文型です。  
主格・補語になる構文・語法の種類は、各例文の📖で確認します。

### 第2文型に使われる動詞

#### ◆ どのような状態にあるかを表す動詞

be(である), keep(ままでいる), lie(置かれている), remain(ままである), stay(とどまる), など

#### ◆ どのような状態になるかを表す動詞

become, get, go, come, turn, など

#### ◆ どのような性質なのかを感覚的に表す動詞

feel(感じる), sound(聞こえる), look(見える), smell(臭いがする), taste(味がする), など

#### ◆ どのように思われるかを表す動詞

seem(ように思える・であるらしい), appear(ように見える), など

悠太は です 速いランナー←

Yuta is a fast runner.

📖 普通名詞

その子供は ままだった 黙った 一日中←

The child kept silent all day.

📖 形容詞

このハーブは 香りがする あまい←

This herb smells sweet.

📖 形容詞

夢は 彼女の結婚の (に)なった 本当の(状態)←

The dream of her marriage has come true.

📖 形容詞

その少年は ように思える だった 病気の(状態)←

**That boy** seems to have been **ill**.

📖 形容詞

肉は (に)なった 悪い(状態) 熱い天気の中で←

**Meat** goes **bad** in the hot weather.

📖 形容詞

リサは (に)なった 青ざめた(状態) そのニュースで←

**Lisa** turned **pale** at the news.

📖 形容詞

エリは 来た 走りながら 部屋の中に←

**Eri** came **running** into the room.

📖 現在分詞

少年達は (状態で)座っていた 囲まれた 少女達に←

**Boys** sat **surrounded** by girls.

📖 過去分詞

## 第 5 文型 / S+V+O+C

「主語+動詞+目的語+補語」は、目的語を説明する目的格・補語をとる文型です。

目的格・補語になる構文・語法の種類は、各例文の📖で確認します。

### 第 5 文型に使われる動詞

#### ◆ 名前や役職などについて述べる動詞

name(名づける), call(呼ぶ), choose(選ぶ), など

#### ◆ 認識を述べる動詞

think(思う), find(わかる), believe(信じる), consider(考える), など

#### ◆ 状態について述べる動詞

make(なる), get(する), keep(保つ), leave(ままにしておく), など

#### ◆ 知覚動詞

see(見る), hear(聞く), feel(感じる), find(見つける), notice(気づく), observe(気づく), watch(見守る), など

#### ◆ 使役動詞

make(させる), let(させてください), have(させる・してもらう), など

私は (と)名づけた その赤ん坊に 悠太←

I named the baby Yuta.

📖 名詞

私は (と)わかった 彼が 親切的な(性格)←

I found him kind.

📖 形容詞

私は (に)した その部屋を 温かい(状況)←

I made the room warm.

📖 形容詞

私は ままにした 彼らが 待っている 外に←

I left them waiting outside.

📖 現在分詞

私は (のに)気づいた 私の姿が 見られている 遠くから←

I noticed my figure seen from a distance.

📖 過去分詞

しましたか あなたは ~(のを)見る 選手たちが 泳ぐ←

Did you see the players swim?

📖 知覚動詞+原形不定詞

何が~か ~させた あなたに 思う そのように←

What made you think so?

📖 使役動詞+原形不定詞

しますか あなたは (と)信じる 彼女が 正直である←

Do you believe her to be honest?

📖 to 不定詞

## 動詞・助動詞・否定

### 1 動詞

動詞は、主語の状態・動作を述べるものです。  
時制として現在・過去・未来、進行形、そして完了形があります。

#### 1-1 時制

##### a 現在

悠太は **住んでいます** 日本に←

Yuta **lives** in Japan.

📖 現在の状態

ケン **来ています** 公園に 歩いて←

Ken **comes** to the park on foot.

📖 現在の動作

私は **いつも 寝ます** 早く←

**I always go to bed early.**

📖 現在の習慣的な動作

NOTE: 反復を表す always, usually, often などを伴う

水は **沸騰します** 摂氏 100 度で←

Water **boils** at 100 degrees Celsius.

📖 一般的事実

私は **出発します** 博多を 東京に向けて **明日の朝**←

**I leave** Hakata for Tokyo **tomorrow** morning.

📖 未来の確実な予定を表す現在時制

NOTE: その他、arrive, come, go, など

**時に** 私が **到着する** 東京に←1、私は 電話をするつもりです リサに←2

**When I get** to Tokyo, I will call Lisa up.

📖 従属節に用いられる時を表す現在時制

## b 過去

私は **好んだ** 漫画を 大いに 子供の頃に←

I **liked** comics very much in childhood.

📖 過去の状態

私は **～会った** 悠太に 昨日←

I **met** Yuta yesterday.

📖 過去の動作

ジョンは **訪問した** この村を 昨年←

John **visited** this village last year.

📖 過去の経験

私は よく **行ったものだ** ゴルフ練習場に 休日に←

I **would often go** to the golf practice range on holidays.

📖 過去の習慣的な動作

NOTE: 反復を表す often, usually, whenever,などを伴う

## c 未来

ケン は **なるだろう** 20歳に 来年←

Ken **will be** twenty years old next year.

📖 単純未来／主語の意志を含まない

**だろうか** 彼は **来る** ここに 明日←

**Will he come** here tomorrow?

📖 単純未来

ジョンは **するつもりです** なんでも 私のために←

John **will do** anything for me.

📖 意志未来／主語の意志になる

私は **いるつもりはない** この事務所に 長い間←

I **will not stay** in this office for a long time.

📖 意志未来

我々は ~することになっています サッカーを 午後←

We **are going to play** soccer in the afternoon.

📖 広く未来を表す

しませんか あなたは 見に行く 映画を 私と←

Will you **go to see** a movie with me?

📖 誘い「~しませんか」を表す

してくれませんか あなたは 弾く ピアノを 私のために←

Will you **play** the piano for me?

📖 依頼「~してくれませんか」を表す

しましょうか 私は ~手伝う あなたの仕事を 今から←

Shall I **help** your job from now?

📖 話し相手の意志「~しましょうか」を表す

## 1-2 進行形

### a 現在進行形

リサは 来ているところです ここに 今←

Lisa **is coming** here now.

📖 現在進行している／is (am, are)+~ing

### b 過去進行形

時に エリが 来た 私の家に←1、私は ~して遊んでいました ゲームを←2

When Eri came to my house, I **was playing** games.

📖 過去において進行していた／was(were)+~ing

### c 未来進行形

悠太は ~しているだろう 野球を この時間に 明日←

Yuta **will be playing** baseball at this time tomorrow.

📖 未来において進行している／will be+~ing

## 1-3 完了形

### a 現在完了形

去の事実が、現在に及ぼしている結果を述べる「完了・結果・経験・継続」の用法で「**have(has)+過去分詞**」の形になり、否定は「have(has) not+過去分詞」、疑問は「Have(Has)+主語+過去分詞?」になります。

私は ちょうど **～(今)終えたところです** 自分の仕事を←

**I have just finished** my work.

📖 「継続していたことが完了したこと」を表す

NOTE: just(ちょうど), now(今), already(もう), yet(もう、まだ),などを伴う

しまいましたか あなたは **～書いて** 手紙を 英語の もう←

**Have you written** a letter in English yet?

📖 「継続していたことが完了したこと」を表す

飛行機は **到着しました(今ここにいる)** 成田空港に←

The airplane **has arrived** at Narita Airport.

📖 「過去の出来事が現在に何らかの結果を残していること」を表す

どこで←1 **しまったか(今はない)** あなたは **～失して** カメラを←2

Where **have you lost** your camera?

📖 「過去の出来事が現在に何らかの結果を残していること」を表す

私は しばしば **(今までに)話したことがあります** 外国人と 駅で←

**I have often spoken** with foreigners at the station.

📖 「継続してきた過去の経験」を表す

NOTE: often(しばしば), ever(これまでに), once(一度), never(かつて～ない), before(以前),などを伴う

ケン は **(ずっと)病気にかかっています** 先週以来←

Ken **has been sick** since last week.

📖 「過去のある時から今も継続していること」を表す

NOTE: since(以来), for(の間), How long～(どれくらい～),などを伴う

私たちは **(ずっと)住んでいる** この町に 10年間←

We **have lived** in this town for ten years.

📖 「過去のある時から今も継続している期間」を表す

## b 現在完了進行形

「今までずっと～している」過去のある時に起こった動作が、現在まで続いていることを表します／have(has) been+～ing

(それは) **ずっと雨が降り続けています** 2時間←

It **has been raining** for two hours.

## c 過去完了形

過去のある時を基準にして、その時よりも前に起こった動作・状態の「完了・結果・経験・継続」を表します／had+過去分詞

時に 私が **～電話した** 悠太に←1、

悠太は **すでに～出発してしまっていた** 家を←2

When I **called** Yuta up, Yuta **had already left** home.

📖 **完了**「(その時)～したところだった」、**結果**「(その時には)～してしまっていた」、

**経験**「(その時まで)～したことがあった」、**継続**「(その時まで)ずっと～であった」

## d 過去完了進行形

「その時までずっと～していた」過去のある時よりも前に起こった動作が、過去のある時まで継続していたことを表します／had been+～ing

時に (それは) **始めた** 雨が降り←1、ジョンは **魚釣りをしていた** 1時間←2

When it **began** to rain, John **had been fishing** for an hour.

## e 未来完了形

未来のある時を基準にして、その時までの「完了・結果・経験・継続」を表します／will have+過去分詞

ケン **～読んでしまっているだろう** 2冊目の小説を 来年までには←

Ken **will have read** the second novel by next year.

📖 **完了・結果**「(その時まで)～してしまっているだろう」、**経験**「(その時まで)～したことになるだろう」、**継続**「(その時まで)ずっと～していただろう」

## 1-4 受動態

受動態は、能動態の「主語+他動詞+目的語」の目的語を主語にして、他動詞を「be 動詞+過去分詞」に変えて、主語を by～の形にします。

その犬は **好かれている** 小さな子供たちに←

The dog **is liked by** little children.

📖 現在形／be 動詞+過去分詞+by～

このエンジンは **修理されていない** 整備技術者たちによって←

This engine **is not repaired by** maintenance technicians.

📖 否定文／be 動詞+not+過去分詞+by～

数学は **選択されなければならない** 全ての生徒に←

Mathematics **must be taken by** all students.

📖 助動詞／助動詞+be+過去分詞+by～

悠太は **招待されるだろう** パーティーに マリによって←

Yuta **will be invited to the party by** Mari.

📖 未来形／will be+過去分詞+by～

その歌は **歌われています** お年寄りたちによって←

The song **is being sung by** the elderly.

📖 現在進行形／be 動詞+being+過去分詞+by～

ましたか そのボールは **蹴られ** キーパーによって←

**Was the ball kicked by** a goalkeeper?

📖 疑問文／be 動詞+主語+過去分詞+by～

いつ←1 ましたか その試合が **始められ** 彼らによって←2

**When was the match started by** them?

📖 疑問詞疑問文／疑問詞+be 動詞+主語+過去分詞+by～

## 2 助動詞

「助動詞+原形動詞」の形で、助動詞は原型動詞に新たな意味を付け加えます。

### 2-1 can

「can+原形動詞」で、「～することができる」能力・可能、「はたして～だろうか・～のはずがない」推量、「～してもよい」許可、「～していただけますか」丁寧などを表します。未来と完了形では be able to を用います。

時に 私が 若かった←1、私は 走ることが出来た より速く←2

When I was young, I **could run** faster.

📖 過去／could+原型動詞

私は ～始めることが出来るだろう フランス語レッスンを 来年←

I **will be able to begin** a French lesson next year.

📖 未来／will+be able to～

私は ～見つけることが出来た その絵本を 本屋さんで←

I **have been able to find** the picture book in a bookstore.

📖 現在完了形／have(has)+been able to～

いいえ、それは であるはずがない 本当←

No, it **cannot be** true.

📖 推量の否定を表す

してもよいか 私は ～行く 泳ぎに 今日の午後に←

**Can I go** swimming this afternoon?

📖 許可や軽い命令を表す

～していただけますか あなたは ～教えて 私に 道を バス停への←

**Could you teach** me the way to the bus stop?

📖 Could は丁寧な言い方を表す

### 2-2 may

「may+原形動詞」で「～してもよい」許可、「～かもしれない」推量などを表します。

終わったので 君の仕事を←1、あなたは 行ってもよい もう←2

Finishing your job, you **may go** now.

📖 許可を表す

私は ~信じないかもしれない その漠然とした物語を←

I **may not believe** the vague story.

📖 推量を表す

私は 遅くなるかもしれない ~家に帰るのが 今晚←

I **may be** late coming home this evening.

📖 可能性を表す

## 2-3 must

「must+原形動詞」で、「~しなければならない」義務・必要、「~に違いない」強い推定などを表します。

過去・未来では had to, have to を用います。

しなければいけませんか 私は 来る 6時までに←

**Must I come** by six o'clock?

📖 必要を表す

あなたは しなければならなかった 何でも 一人で←

You **had to do** everything alone.

📖 must には過去がないので had to

ケン は ~勉強しなければならないだろう 英語を 今夜←

Ken **will have to study** English tonight.

📖 未来 will の場合 have to

ジョンは いるに違いない 40 を過ぎて 今←

John **must be** over forty now.

📖 強い推定を表す

## 2-4 would

「would+原形動詞」で、「~でしょう」可能性・推量、「~したものだ」過去の習慣、「(どうしても)~しようとした・しようとしなかった」過去の強い意志、「(出来れば)~したいのですが・していただけませんか」丁寧な現在の願望を表します。

ので マリは 出た 2時間前に←1、彼女は いるでしょう 家に 今←2

As Mari left two hours ago, she **would be** at home now.

📖 現在の可能性・推量を表す

私は よく 釣りをしに行ったものだ 近くの川に 休日に←

I **would often go fishing** in the river nearby on holidays.

📖 過去の習慣的動作を懐かしむように表す

リサは ~(どうしても)聞こうとしなかった クラシック音楽を←

Lisa **wouldn't listen** to classical music.

📖 過去の強い否定の意志を表す

私は ~(できれば)飲みたいのですが 一杯の紅茶を←

I **would like to have** a cup of tea.

📖 丁寧な現在の願望を表す

貸していただけませんか 私に あなたのコンピューターを 今から←

**Would you lend** me your computer from now?

📖 丁寧な現在の願望を表す

## 2-5 should

「should+原形動詞」で、「~すべきである」義務・当然、「たぶん~のはずだ」可能性・推量、「~するなんて・するとは、いったい~か・どのようにして~か・どうして~か」意外・驚き・怒りの感情を表します。

あなたは 持つべきです たくさんの本を 歴史に関する←

You **should have** lots of books on history.

📖 義務・当然

ので エリは いる 急いで←1、

彼女は たぶん着くはずだ 事務所に 1時間内に←2

As Eri is in a hurry, she **should get** to the office in an hour.

📖 可能性・推量

マリは 驚いている 悠太が ~するなんて そのようなことを←

Mari is surprised **that Yuta should do** such a thing.

📖 意外な感情

(それは) である 当然 あなたが ~憎むとは 彼を←

It is natural **that you should hate** him.

📖 怒りの感情

いったい誰が～か いる そこに そのような時間に←

**Who should** be there such a time?

📖 意外な感情

どうして～か 彼らは してしまった そのように←

**Why should** they have done so?

📖 怒りの感情

## 2-6 ought to

「ought to+原形動詞」で、「～すべきだ」義務、「～はずだ」当然を表します。

あなたは ～読むべきである 英文を 声に出して←

You **ought to read** English sentences at loud.

📖 義務を表し、must より意味が弱く、should より意味が強い

## 2-7 used to

「used to+原形動詞」で、「以前は～だった」過去の状態、「以前はよく～していた」過去の習慣を表します。

ケン は 以前住んでいた 大阪に←

Ken **used to live** in Osaka.

📖 過去の一時期の状態、今はしていない

私は よく行ったものです 仕事に バスで←

I **used to go** to work by bus.

📖 過去の一時期の習慣で、今はその習慣はない

## 2-8 need

「need+原形動詞」は、否定・疑問で「～する必要はない・あるか」を表します。

ケン は 心配する必要はありません 悠太について←

Ken **need not worry** about Yuta.

📖 動詞 need は「～を必要とする」を表します。

### 3 否定

#### 3-1 否定 not

否定 not は副詞で「～でない」を表します。

(それは) ないです 寒く 今日←

It **isn't** cold today.

📖 is not=isn't

彼は ~持っている どんな友達も←

He **has not** any friends.

📖 have not=haven't, has not=hasn't

NOTE: 「(単に)～を持っていない」は通常 no が使われる

He has no friends.

悠太は 行かないつもりです 東京へ 明日←

Yuta **will not go** to Tokyo tomorrow.

📖 will not=won't

ケン は ~することがどうしてもできない ゴルフを 豪雨の中では←

Ken **cannot play** golf in the heavy rain.

📖 cannot は強調を表す

悠太は 言うべきではない 上位の人に対して そのように←

Yuta **ought not to say** to a superior person like that.

📖 ought not to / ought は常に to を伴う

彼は 罰せられないだろう 証拠なしに←

He **will not be punished** without evidence.

📖 受動態 / will not be + 過去分詞

マリは してしまうべきではなかった それを 友人のために←

Mari **should not have done** it for her friend.

📖 現在完了 / should not have + 過去分詞

リサは ~覚えている **止まらなかったことを** この場所に←

Lisa remembers **not stopping** at this place.

📖 動名詞 / not + ~ing

まで 私が 落ち着く←1、彼女は ~言った 私に **出て行かないように**←2

Until I calmed down, she told me **not to go out**.

📖 to 不定詞 / not to + 原形動詞

ジョンは ~**思いません** ということを 悠太が 来るだろう パーティーに←

John **does not think** that Yuta will come to the party.

📖 否定は主節に置き、従属節は肯定文にする

ケンです 日本人 **ではなく** オーストラリア人←

Ken is Japanese, **not Australian**.

📖 単語を否定する

ジョンは 出身です カナダの **ではなく** 合衆国の出身←

John is from Canada, **not from the United States**.

📖 句を否定する

彼女は 愛している 彼を←1、**からではなく** 彼が である ハンサム←2、

からだ 彼が 持っている 温かい心を←3

She likes him, **not because** he is handsome,

**but because** he has warm hearted.

📖 節を否定する

### 3-2 否定 never

否定 never は副詞で、not より強い否定の「決して～しない」を表します。

私達は **決して働かない** 週末には←

We **never work** on weekends.

📖 never+原形動詞／強調だけではなく状態が不特定期間に及ぶ

ケン は **一度もしなかった** 間違いを 実験において←

Ken **never made** a mistake in the experiments.

📖 never+過去形／「一度も～しなかった」と強調的になる

彼らが **決して知ることはないだろう** 話を 裏の←

They **will never know** the story of the back.

📖 will never+原形動詞／「～することは決してないだろう」と強調的になる

私は 信じている **決して繰り返さないことを** その間違いを←

I believe **never to repeat** the mistake.

📖 never+to 不定詞／「決して～しないこと」と強調的になる

悠太は **これまで起こしたことが決してない** どんな問題も←

Yuta **has never caused** any problems.

📖 have(has)+never+過去分詞／「これまで～したことが決してない」と強調的になる

### 3-3 部分否定

全ての子供達が～のではない だった 満足した(状態) おもちゃに←

**Not all** the children were satisfied with the toys.

男は誰でもが～のではない なることができる そのような偉大な人に←

**Not every** man can be such a great person.

それらは 両方良いのではない プレゼントとして 両親への←

They **are not both** good as presents to parents.

今日、お年寄りが 必ずしも幸福なのではない 世の中において インフレの←

Today, the old **are not always** happy in the world of the inflation.

### 3-4 準否定

私は ~ほとんど聞くことができなかった 彼らの会話を 外で←  
I **could hardly hear** their conversation outside.

その先生は ~めったにしない 間違いを 計算において←  
The teacher **seldom makes** a mistake in a calculation.

### 3-5 全体否定

誰もいない ~解くことができる この問題を←  
**No one** can solve this problem.

私は 誰一人知らない これらの女性達の←  
I know none of these ladies.

### 3-6 強い否定を表す

雲一つなかった 空に←  
**There was not a cloud** in the sky.  
📖 a の特殊位置により強調を表す / not+a+名詞

(それは) です 決して冗談どころではない←  
**It is no joke.**  
📖 強調を表す / no+名詞

### 3-7 二重否定

彼らは 決して会わない けんかをすることなしに←  
They **never meet without** quarreling.  
📖 二重否定は肯定的な意味になる / never~without...

ケンは ではない ~好まない ~手助けすることを 私を←  
Ken **is not unwilling** to help me.  
📖 二重否定は肯定的な意味になる / be not unwilling~